

問 避難計画状況と見通し

答 早い時期に実効性のある計画を策定したい

豊創会 豊島 寛一 議員



議員 平成25年度中の策定を目指していた東海第二原発の事故を想定した広域避難計画の完成の目的が立っていない。国が事故時の具体的な対応方針を十分に示していないことが原因。国・県が先行して計画策定するというが、各自治体の課題状況が分かるか疑問である。各自治体から策定したものを吸い上げ検討し擦り合わせすべきと考えるが、事情が異なるので、独自に計画策定したほうが現実的でなかったかを伺う。

運営、要援護者の避難手段の検討等について、まだ多くの課題があるため、現在のところ策定に至っていない。村の状況や課題等について擦り合わせを行いながら、早い時期に避難計画を策定したい。

経済環境部長 県が主導的に関連する市町村や団体等と勉強会を開催し、意見を集約しながら県の広域避難計画を取りまとめ、それを基に村としての避難計画を策定するという手法で進めてきた。しかし、避難先の確保や避難方法、避難所の開設、



避難道路

問 環境政策、目標を明確に示すことが大切！

答 環境を政策の柱とし、モデル都市を目指す

光風会 恵利 いつ 議員



議員 村には環境問題に関心の高い住民が多く、ボランティア等を含め様々な取り組みがされているが、いまだ環境先進都市と言えるまでには至っていない。環境モデル都市を目指すことへの村長の考えを伺う。また、村政の中軸に環境を置くことで、種々の政策が「環境」という共通理念の下に進められと考えるが。

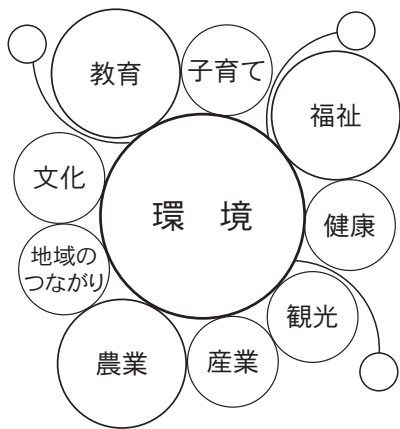
議員 環境都市を目指しながらも、経済活動の安定にも取り組まなければならぬが、環境と調和のとれた企業誘致の情報収集に努める。

経済環境部長 可燃ごみが増える傾向にある。分別徹底の広報や資源物の出しやすい環境を整えるなど、資源化の向上に努める。

議員 環境都市を目指しながらも、経済活動の安定にも取り組まなければならぬが、環境と調和のとれた企業誘致の情報収集に努める。

村長 現在バラバラに行われている環境への取り組みを、まとめて打ち出すことが必要と考える。政策の柱に環境を置くことを全職員に伝え、意識付けを行っていく。環境モデル都市として選定されるまちづくりを目指す。

議員 資源の有効利用について、抱えている課題と今後の取り組みについて伺う。



私のまちづくりのイメージ